



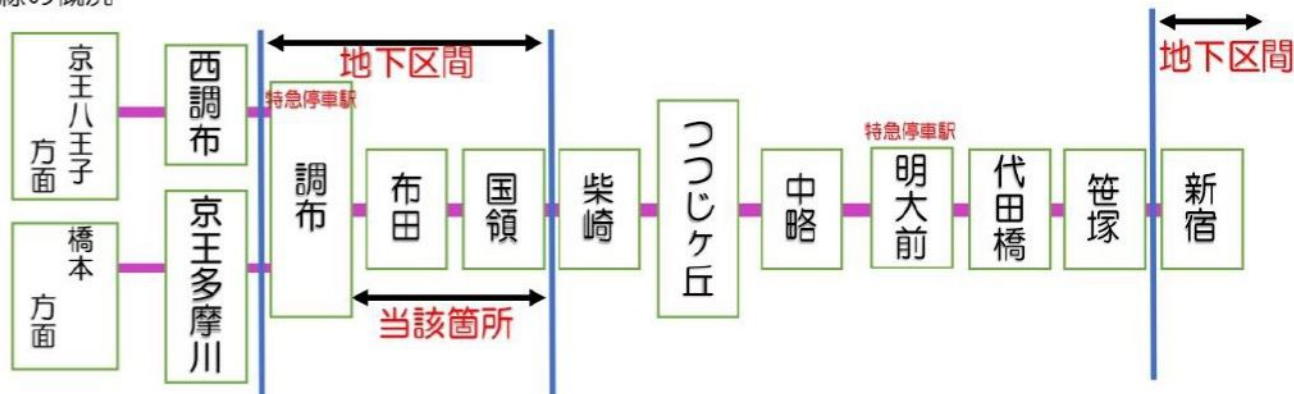
池袋運輸区分会

第1回事故予防委員会を開催しました!

テーマ:京王線刺傷事件を受けて、 組合員を守る環境をつくりだそう!

2021年10月31日(日) 20時頃、京王線上り特急列車の布田～国領駅付近にて、死刑志願者の男が刃物で乗客を刺した上、ライター用のオイルを撒いて放火をする事件がありました。負傷者は18人出たとされていますが、この他にも同様の事件が多発しており、鉄道会社の不審者への対応や避難のあり方などがどうあるべきか問われています。分会は、現実を検証するとともに、目指すべき方向の検討を行いました。

京王線の概況



① 事件の概要を見ての検討

- 当該区間は地下区間のため、車内警報ブザーが扱われても直ちに止まれなかったのでは？(京王のルールは不明)
- 調布を出て犯行が行われたようだが、1つ目の布田駅はフルスクリーンタイプのホームドアのため避難が難しいと判断したのではないか？
- 2つ目の国領駅で止まろうとしたのか？(ホームドアは山手線と同じ高さのタイプ)
- 特急のため通過駅である国領駅ではTASCが効かない中、コックも切られ力行ができなく、混乱してしたのではないか？

② JR 東日本の現実

- 車内警報ブザーが扱われた場合は、地形等を考慮し直ちに停車する。
- 地下区間やトンネルで車警が扱われた場合は、次駅またはトンネル外に出るまで止まらない。
- 不審者対応はマニュアルが配布され簡単に説明をされるだけ。
- 安全衛生委員会で議題にするも、会社から今やっていること以外具体的な対策はないと回答。
- その対策は、警備員の強化と、車内放送強化、ポスター作成。

③ 国の対応

- 車内警報ブザーが複数扱われた時や複数通話ができない時などは、緊急事態と判断して防護無線を発報する
- ホームドアと列車がずれている場合は双方のドアを開ける
(定位置ベルトしかない中でどう判断するのか?)

④ 他社の対応

- 京王電鉄・・・全車両に防護盾 駅にさすまたを配備 警備員の巡回
- 小田急電鉄・・・運転士用の防刃手袋と車内用盾の準備中 腕章をつけた社員の巡回
- 東京メトロ・・・駅にさすまたを配備 乗務員は防犯用品を携帯

⑤ 自分たちでできることは

• 身を守ることを第一とする

運転士・車掌相互連絡を取り合い、協力する
自分が怪我をすれば、乗客の命を守ることはできなくなる！

• 110番通報する

人身事故同様に連絡を行い、対応を求める
業務用携帯(ガラケー)が使えない人はいないか？確認が必要

• 車内の関係者に応援要請

一人でも多く対応できる人を増やす

• 状況把握

乗務員が一番冷静になり避難誘導を行う

• 危険なところから離れることも判断の1つ！

命を守るために最も良い道をとる

⑥ 会社に求めること

• 防刃手袋など身を守るものの配置

配置＝対応ではなく、あくまで身を守るために活用する

• 防犯カメラの縛りを緩和させる

E235系は防犯カメラの映像が確認できるが、緊急事態のときは指令の指示がなくても活用できるようにする

• 安全と判断した場合、ルールと違う取扱いをしても社員を守ること！

安全綱領にある通り、最も安全な道をとる判断をしたことについて、社員の行動を尊重することの保証を求める！

以上の通り、第1回事故予防委員会で検討を行いました！

提言実現に向けて、組合員と討論を深めていきます！